

2025 年度

**一般財団法人 地域公共人材開発機構
事業報告書**

<第 18 期>

2025 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日

一般財団法人 地域公共人材開発機構

2025 年度 事業報告（概要）

（１）「地域公共政策士」の資格制度の運用

資格制度の社会的認証に係る認証基準、規程、フレームワークに基づき、資格教育プログラムの社会的認証及び資格制度の運営を行なった。

○2025 年度の資格教育プログラムの申請

【初級地域公共政策士プログラム（レベル６）】

① グローカル人材プログラム（龍谷大学）【更新】

【地域公共政策士プログラム（レベル７）】

なし

○2025 年度認証科目の申請

- ① 政策立案能力強化プログラム（琉球大学）【更新】
- ② 地域円卓会議マネジメントの技法と実践（琉球大学）【更新】
- ③ ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論（琉球大学）【更新】
- ④ クラウドファンディング実践講座（琉球大学）【更新】
- ⑤ ファシリテーションの技能と地域振興（琉球大学）【更新】
- ⑥ 地域企業（自治体）お題解決プログラム（琉球大学）【更新】

○軽微な変更等の審査申請

- ・グローバル人材プログラム（京都光華女子大学）
- ・グローバル人材プログラム（京都産業大学）
- ・政策立案能力強化プログラム（琉球大学）
- ・地域円卓マネジメントの技法と実践（琉球大学）
- ・ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論（琉球大学）
- ・クラウドファンディング実践講座（琉球大学）
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）による地域課題解決（琉球大学）
- ・ファシリテーションの技法と地域振興（琉球大学）
- ・地域企業（自治体）お題解決プログラム（琉球大学）
- ・コミュニティ・プロデューサー養成講座（琉球大学）
- ・地域公共政策カリキュラム（琉球大学）

○資格教育プログラムの終了

＜政策士＞

- ・キャップストーンプログラム（同志社大学）2025 年度未終了
- ・キャップストーン（京都府立大学）2026 年度未終了予定

○地域公共政策士「特別講義」

2025 年度申込者数：5 名（内スクーリング参加者 5 名）

スクーリング実施日（2026 年 2 月 28 日開催）※Zoom 開催

○地域公共政策士「初級特別講義」（科目認証制度「政策的思考」）

2025 年度申込者数：29 名（2024 年度 23 名）

資格教育プログラムの認証数及び資格取得者数（2026 年 3 月 31 日時点）

2025 年度地域公共政策士：2 名申請（延べ人数：52 名）

2025 年度初級地域公共政策士：99 名申請（延べ人数：992 名）

（2）「ソーシャルイノベーションデザイナー」の資格制度の運用

新しい資格制度の社会的認証に係る認証基準、規程、フレームワークを作成し、資格教育プログラムの社会的認証及び資格制度の運営を開始した。

○2025 年度の資格教育プログラムの申請

【ソーシャルイノベーションデザイナー（レベル7）】

なし

○SI-D「特別講義」

2025 年度申込者数：13 名（内スクーリング参加者 13 名）

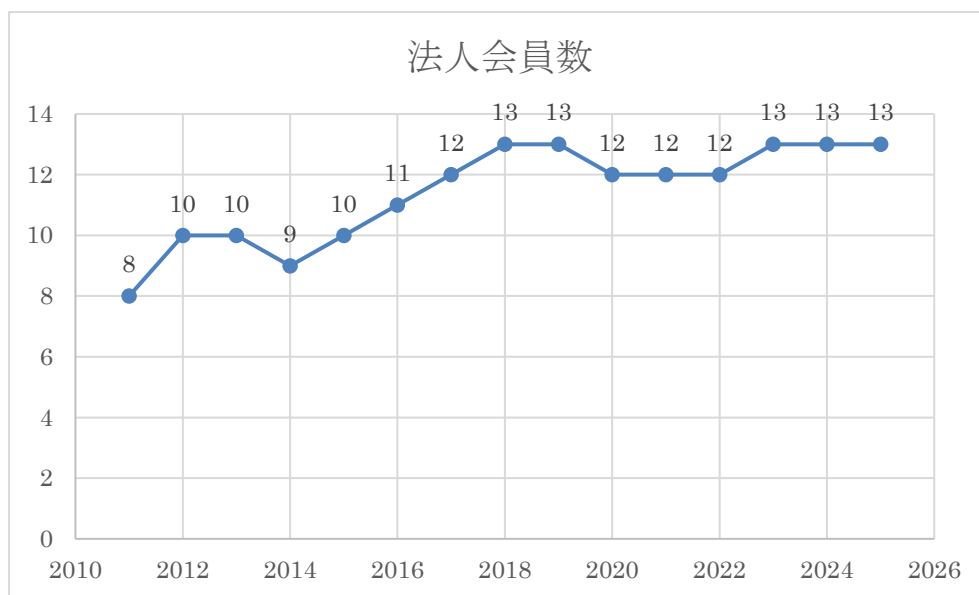
スクーリング実施日（2026 年 2 月 7 日、2 月 11 日、3 月 15 日開催）※Zoom 開催

SI-D 資格教育プログラム資格取得者数（2026 年 4 月 30 日時点）

2025 年度 SI-D：13 名申請（延べ人数：13 名）

（3）法人会員

京都産業大学、京都橘大学、京都府立大学、京都文教大学、同志社大学、佛教大学、龍谷大学、京都府立林業大学校、グローバル人材開発センター、福知山公立大学、琉球大学、京都光華女子大学、立教大学
（※2025 年度をもって、同志社大学は会員から脱退）



(4) 受託事業

2025 年度の受託事業

事業名	発注元	金額
夢まちづくり大学コーディネーター事業	京丹後市夢まちづくり大学（京丹後市）	120 万円
人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業	龍谷大学	600 万円

理事会・評議員会

1. 理事会の開催

6 月定例理事会

6 月 4 日に定例理事会をオンライン会議（Zoom）にて開催した。審議事項として、①2024 年度事業報告、決算報告、監査報告、②2025 年度評議員会の招集日について、が行われた。

3 月定例理事会

3 月 16 日オンライン会議（Zoom）にて定例理事会を開催した。審議事項として、①認証判定（更新プログラム 1 件）、②2026 年度事業計画案、事業予算案、審議された。報告事項として、①2025 年度事業経過概要・決算見込み、が報告された。

2. 評議員会の開催

6 月定例評議員会

6 月 27 日にオンライン会議（Zoom）にて定時評議員会を開催した。審議事項として、①2024 年度事業報告、決算報告、監査報告、の審議がなされた。報告事項として、2025 年度事業計画と予算について報告された。

事業 NO	NO. 101	事業 種別	1.認証・資格
事業名	社会的認証事業		2.自主事業
			3 受託事業
事業項目 (主な項目)	社会的認証ハンドブック作成、プログラム審査委員会、異議申立審査会 評価作業（書面調査）、資格発行など		
事業概要			
社会的認証の申請状況			
○プログラムの申請（更新：1）			
＜ジュニア地域公共政策士プログラム（レベル4）＞			
なし			
＜初級地域公共政策士プログラム（レベル6）＞			
① グローカル人材プログラム（龍谷大学）【更新】			
＜地域公共政策士プログラム（レベル7）＞			
なし			
＜キャブストーンプログラム（レベル7）＞			
なし			
＜ソーシャルイノベーションデザイナー（レベル7）＞			
なし			
○認証科目の申請			
政策立案能力強化プログラム（琉球大学）【更新】			
地域円卓会議マネジメントの技法と実践（琉球大学）【更新】			
ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論（琉球大学）【更新】			
クラウドファンディング実践講座（琉球大学）【更新】			
ファシリテーションの技能と地域振興（琉球大学）【更新】			
地域企業（自治体）お題解決プログラム（琉球大学）【更新】			
○軽微な変更等の審査申請			
・グローバル人材プログラム（京都光華女子大学）			
・グローバル人材プログラム（京都産業大学）			
・政策立案能力強化プログラム（琉球大学）			
・地域円卓マネジメントの技法と実践（琉球大学）			
・ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論（琉球大学）			
・クラウドファンディング実践講座（琉球大学）			
・DX（デジタルトランスフォーメーション）による地域課題解決（琉球大学）			
・ファシリテーションの技法と地域振興（琉球大学）			
・地域企業（自治体）お題解決プログラム（琉球大学）			
・コミュニティ・プロデューサー養成講座（琉球大学）			
・地域公共政策カリキュラム（琉球大学）			
○地域公共政策士プログラムの終了			
・キャブストーンプログラム（同志社大学）2025 年度末			
・キャブストーンプログラム（京都府立大学）2026 年度末終了予定			

資格発行数（2025 年 4 月 1 日～2026 年 4 月 30 日まで）		
	2025 年度	（参考）2024 年度
地域公共政策士	2 名	2 名
初級地域公共政策士	99 名	94 名
SI-D	13 名	0 名

※資格取得者の統計情報については資料⑤別紙統計を参照して下さい。

関係事項

・資格取得者のホームページ掲載 （初級）<https://www.colpu.org/qualification/shokyu-list/>
（政策士）<https://www.colpu.org/qualification/professional-list/>
（SI-D）<https://www.colpu.org/qualification/si-d-list/>

事業収入：827,750 円

社会的認証手数料：503,800 円

資格申請手数料：323,950 円（政策士：26,400 円、初級：297,550 円）

事業 NO	NO. 102	事業 種別	1.認証・資格
事業名	特別講義		2.自主事業 3 受託事業
事業項目	研修企画 研修実施		
事業概要			
<企画趣旨> 地域公共政策士特別講義 ・地方創生カレッジにより e ラーニング化した特別講義の運用 ・e ラーニング講義を踏まえたレポートテーマ課題の採点。 ・政策テーマに基づくディスカッション力、合意形成能力、コミュニケーション能力を養成するスクーリングの実施 <レポート> ・地域公共政策士 レポート 5 本 ・初級地域公共政策士 レポート 3 本（必須課題 1 本・選択課題 2 本） <スクーリング> 2 月 28 日開催 SI-D 特別講義 2 月 7 日、11 日、3 月 15 日開催 ・ソーシャルイノベーション実践者を講師に迎えたオンライン講義の 3 回構成 ・各回において参加者同士のディスカッションの実施 <レポート> ・それぞれの回のディスカッションレポートとアンケートレポート（合計 6 本）			
事業収入：260,700 円（2025 年度申込者 政策士特別講義：5 名、初級特別講義：29 名			
SI-D 特別講義：13 名※受託事業期間のため、収入はなし)			

事業 NO	NO. 201	事業 種別	1.認証・資格
事業名	自治体研修・議会研修事業		2.自主事業
事業項目	調査・研究、研究会実施、報告書の作成		
事業概要			
事業の目的 地域公共人材育成の為に講師派遣等を通じた研修を実施する。			
2025 年度の事業実績			
講師派遣件数		2 件	
・藍住町議会研修 講師：新川達郎先生 ・鳴門市議会研修 講師：新川達郎先生			
事業収入： 165,900 円			

事業 NO	NO. 202	事業 種	1.認証・資格
事業名	会員事業		2.自主事業
事業項目	会員サービスの提供		
事業概要			
事業目的 地域公共政策士資格制度などを実施するための会員制度の実施			
事業内容 2025 年会員数：13 件 会費：650,000 円			
法人会員 京都産業大学、京都橘大学、京都府立大学、京都文教大学、京都府立林業大学校、同志社大学、 福知山公立大学、佛教大学、龍谷大学、グローバル人材開発センター、琉球大学、京都光華女子大学 立教大学			
会費収入：650,000 円			

事業 NO	NO. 301	事業種別	1.認証・資格				
事業名	京丹後市夢まち創り大学		2.自主事業				
事業項目	事業コーディネート、事業運営、バス運行補助、活動補助、報告書の作成						
3.受託事業							
事業概要							
業務趣旨・目的 (1) 京丹後市夢まち創り大学の事業コーディネート (2) 京丹後市夢まち創り大学の運営推進 (3) 京丹後市夢まち創り大学に参加している大学の活動サポート (4) その他上記に関連して必要となる業務							
業務内容 <夢まち創り大学活動実績> 1-1 活動大学数 8団体 (11 プログラム) 【前年】8 団体 (12 プログラム) 1-2 参加学生実績 (申請のあったもののみ集計) 人／日合計 : 315 人【前年】491 人 (算出方法: 10 人が 3 日間活動した場合→のべ活動人数 30 人) のべ活動人数 : 527 人 【前年】307 人 のべ活動日数 : 26 日 【前年】37 日 活動回数 : 16 回 【前年】22 回 1-3 バス利用実績 総利用回数 : 16 回 【前年】26 回 総利用人数 : 292 人 【前年】299 人 今年度より各大学の利用回数を 2 回までとしたため総利用回数は減少したが、総利用人数としては、昨年度同等となった。 1-4 シェアハウス利用実績							
	郷シェアハウス	久僧シェアハウス	湊宮シェアハウス				
総利用日数	0 日 (前年)0 日	13 日 (前年)14 日	0 日 (前年) 0 日				
総利用人数	0 人 (前年)0 人	141 人 (前年)98 人	0 人 (前年)0 人				
合計	13 日 (前年)14 日						
合計	141 人 (前年)98 人						
シェアハウスの利用は久僧シェアハウスのみとなったが、利用日数は変わらないものの、利用人数は増加した。							
1-5 拠点施設 (旧郷小学校) 利用実績 総利用回数 : 0 日 総利用日数 : 0 人							
1-6 夢まち創り大学学生証発行実績							
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	院 生	教員・職員	合計
総発行数	0 人 (前年)10 人	74 人 (前年)29 人	33 人 (前年)46 人	0 人 (前年)8 人	0 人 (前年)2 人	0 人 (前年)14 人	107 人 (前年)109 人
累計発行数	1,655 人 (前年まで)1,548 人					0 人 (前年まで)81 人	1,655 人 (前年)1,629 人

1-7 電動自転車利用実績

総利用日数 : 0 日 【前年】0 日

総利用台数 : 0 台 【前年】0 台

今年度の電動自転車利用実績はない。

2025 年度活動プロジェクト一覧

No.	新規 継続	大学	担当教員 担当職員	活動地域	活動概要
1	継続	龍谷大学	谷垣岳人 准教授	大宮町 三重・森本	・フィールドワークを年間 3 回実施（田植え、生物調査、小学校との協働調査）し、事前学習として大学と小学校をオンラインで接続した講義も実施。 ・地域・大学生と連携し、消費者向けイベントを 3 回開催するとともに、「きょうといきものフェス」に 2 回出展。 ・ゲンゴロウ郷産米の販路拡大に向けた学内販売や、関係者向けオンライン報告会を実施。
2	継続	龍谷大学	今里佳奈子 教授	京丹後市 宇川地域	・地域団体と連携し、「獣害に負けない米づくり」や休耕田への花の定植・里山整備により、休耕田の再生と景観改善を実施。 ・これらの取組を活用し、地域内外で交流イベントや情報発信を展開。 ・地域内の「諦めムード」を払拭するとともに、地域外からの支援・応援の輪を拡大。
3	継続	大手前大学	今福章代 教授	網野町	・京都府立織物・機械金属振興センターの研究員と連携し、京丹後七姫をテーマに着物デザインを企画（3・4 年生で 2 着制作）。 ・オンライン指導により、ジャガー織デザインやぼかし染め技術を学び、生地制作から染色までを実施。 ・完成した反物を京丹後市で縫製し、卒業制作展にて展示。
4	継続	大谷大学	鈴木寿志 教授	京丹後市 網野町	・網野町小浜および磯で清掃活動を実施。 ・回収した大型ごみは京都環境保全公社でサマールリサイクルし、一部は素材リサイクルに向けて調査。 ・マイクロプラスチック除去装置（浮遊型・ふるい型）の改良と稼働実験を実施。
5	継続	京都府立大学	松村千鶴 特任教授	(株)丹後王国ブルフリー (株)野木源	・道の駅での就業体験を通じた地方でのビジネス提案 ・農業体験を通じた農業と地域活性化提案
6	継続	大谷大学	野村実 講師	京丹後市全域	・京丹後市の多様な地域公共交通に関する現地調査 ・9 月に京丹後市役所と連携し「交通すざろく」ワークショップ、10 月に「モビリティロゲイニング@京丹後」を開催し、公共交通の活用と理解を促進。
7	継続	同志社女子大学	齋藤朱未 教授	京丹後市峰山 東地区	・大学と現地をオンラインで接続し、フィールドワークに先立つ地域理解の事前学習を実施。 ・総合文化祭において地域住民へのヒアリング調査を行い、活動の考え方や地域の魅力を把握。 ・成果整理の過程で地域コーディネーターと意見交換、現地報告会を通じて地域住民との対話を実施。
8	継続	近畿大学	山縣正幸 教授	京丹後市峰山 町地域	・カードゲーム共同制作と活用を通じた京丹後地域の魅力発見と展開可能性の探求
9	継続	同志社大学	田中宏樹 教授	京丹後市弥栄 町	・弥栄町鳥取・木橋・和田野校区を対象に、土砂災害・水害への防災力向上をテーマに調査・検討を実施。

					・自治会防災部会や市役所へのヒアリング、現地視察を通じて、防災対策の方向性と具体策を検討。
10	継続	龍谷大学短期大学部	野口聡子 講師	京丹後市全域	・龍谷大学深草キャンパスでのバケツ稲栽培（苗植え・水やり）の経験を教育活動に活用。 ・「こども教育学研究演習」において、地域連携に向けた学びと実践をテーマにグループワークを実施。
11	継続	同志社大学・龍谷大学	泉川大樹 講師		・地域の魅力発信事業 ・新たな資源発掘
委託元		京丹後市夢まち創り大学			
事業収益：1,201,860 円					

事業 NO	NO. 303	事業 種別	1.認証・資格 2.自主事業
事業名	人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業		3 受託事業
事業項目	3 大学連携ネットワーク型大学院構築事業の事務局、認証制度開発		
事業概要			
龍谷大学を代表校として、琉球大学と京都文教大学の3大学が連携したネットワーク型大学院構築事業であるソーシャル・イノベーション人材養成プログラムが採択され、その事務局を担う。2025 年度からは、資格制度の本格運用が始まり、各大学でプログラムの運用を始め、初めての資格取得者 13 名を輩出した。 2025 年度は以下の会議を開催、事務局として運営に携わった。 ・ 認証制度開発委員会 ・ 教育プログラム検討委員会 ・ SI 研究グループミーティング ・ 運営委員会 ・ 拡大運営委員会 ・ 大学連携会議			

<会議開催一覧>

日時	開催方法	会議名	議案	出席者数
6月5日（木） 17:30～19:10	オンライン	第1回SI研究グループミーティング	1. 今年度方向性について 2. 日本SI学会第7回年次大会分科会応募について 3. 今年度調査（国内・国外）	14名
7月5日（土） 12:45～14:45	対面 (ハイブリッド)	第1回拡大運営委員会	1. SI-Dプログラム運営状況（前期）の報告 2. 各大学から課題の共有	31名
7月29日（火） 13:00～14:30	オンライン	第1回認証制度開発委員会	1. 今年度の要検討事項について 1-1 昨年度の認証プロセスの検証 1-2 SI-Dの社会的認知度の向上 1-3 認証制度の持続に向けた取り組み	8名
8月5日（火） 14:30～15:50	オンライン	第2回SI研究グループミーティング	1. 日本SI学会第7回年次大会分科会について 2. 新設サイト 国内調査報告サイトについて 3. 国外調査について 4. OECD報告書 Starting, Scaling and Sustaining Social Innovation-Evidence and Impact of European Social Fund 5. 今後の研究会について	14名
8月7日（木） 10:30～12:00	オンライン	第1回教育プログラム検討委員会	1. 前期および後期の基礎プログラムアンケートについて 2. 基礎プログラムにおける3大学交流型の科目の増加について 3. 事業計画策定のための管理会計・財務（仮称）について	12名
10月14日（火） 10:30～12:00	オンライン	第2回教育プログラム検討委員会	1. 授業アンケート 2. 交流型科目の増加 3. 財務・会計の科目	10名
11月17日（月）	メール審議	大学連携会議	1. 教育プログラムの拡充について	4名
12月1日（月） 10:30～12:10	オンライン	第3回SI研究グループミーティング	1. 日本SI学会との連携について 2. 調査報告ーポルトガル調査、国内調査 3. SI事例調査サイト 進捗状況について 4. 今後の国内外調査について 5. 新たな設置科目について（提案）	14名
12月3日（水）	メール審議	第3回教育プログラム検討委員会	1. 財務・会計科目2つの導入案について	6名
12月4日（木） 13:30～15:00	オンライン	第2回認証制度開発委員会	1. 海外調査について 2. 科目認証についての可能性 3. 広報戦略の検討	8名
12月6日（土） 10:00～12:30	対面 (ハイブリッド)	第2回拡大運営委員会	1. 文科省・学術振興会中間審査の報告と今年度の課題 2. SI-Dプログラム運営状況の報告 3. 今年度の予算執行状況 4. 次年度カリキュラムについて 5. シンポジウムの開催について	28名
12月27日（土） 15:00～17:00	オンライン	第1回キャップストーン担当者会議	1. 今年度の振り返り 2. 次年度テーマ（社会課題） 3. 仕上げ科目（特別講義） 4. チーム編成方法 5. 学会（日本SI学会等）の活用について 6. 共通のオンラインツール	10名
2月25日（水） 10:00～11:30	オンライン	第3回認証制度開発委員会	1. 新規参入の方法 2. SI-Dの呼称 3. マイクロ・クレデンシャルの可能性 4. 広報展開 5. SI-D資格取得者ネットワーク 6. 英国調査 AOの持続性を検討するのための調査 7. 企業・自治体ニーズ把握	9名
2月27日（金） 13:00～15:00	オンライン	第3回拡大運営委員会	1. SI-Dプログラム運営状況の報告 2. 今年度の予算執行条項報告 3. 評価委員会開催について 4. 次年度カリキュラムについて 5. シンポジウムの開催について 6. 2026年度スケジュール 7. 「社会人の学び直しに関するアンケート」調査報告	24名
3月13日（金） 13:00～15:00	オンライン	第2回キャップストーン担当者会議	1. 2026年度キャップストーンテーマについて	10名

